取扱説明書

爬虫類・両生類用タイマー機能付電子サーモスタット

爬虫類サーモ

取扱説明書本文にでてくる警告・注意事項の部分は、製品をお使いいただく前に注意深く読み、よく理解してご使用ください。この取扱説明書はいつでも取り出せるところに保管してください。

⚠ 観賞魚用ヒーターを接続しない

⚠ プラグやコンセントは濡れた手でさわらない

この度は、「爬虫類サーモ」をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの説明書を最後までお読みになり、正しい使用方法、注意事項などをご理解の上、ご使用くださるようお願いいたします。お読みになった後は大切に保管してください。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使い方をしたときに生じる内容を、2つに区別しています。

⚠ 警　告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注　意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

⃠は してはいけない「禁止」の内容です。	⃠一般的な禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止
●は 必ず実行していただく「強制」の内容です。	❗必ず行う　差し込みプラグを抜く

⚠ 警告（けいこく）（必ず以下の警告事項をお読みになってからご使用ください）

■爬虫類・両生類飼育ケージでご使用ください

◆爬虫類・両生類飼育ケージ以外での使用や、他の目的では絶対に使用しない。
◇火災、感電、故障の原因になります。

■差し込みプラグ・コンセント・電源コードについて

◆セット時、生体の出し入れ、点検、掃除など水中に手を入れる時は、必ずケージで使用している電気製品全ての差し込みプラグを抜く。
◇感電の原因になります。

◆本体を水に落とした時は、差し込みプラグをコンセントから抜き、取り出す。
また、水没させた本体は絶対に再使用しない。
◇感電、発火の原因になります。

◆雷が近い時は、差し込みプラグをコンセントから抜く。
◇火災や故障の原因になります。

◆ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない。
◇感電の原因になります。

◆たこ足配線はしない。
◆電源コードや差し込みプラグが傷んでいたりコンセントへの差し込みがゆるい時は使用しない。
◆電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
◇感電、ショート、火災の原因になります。

■差し込みプラグ・コンセント・電源コードについて

◆コンセントは、飼育ケージより高い位置にあるようにし、電源コードをつたわって差し込みプラグに水がかからないようにする。
◆本体及び差し込みプラグ、ヒーター・ランプ用コンセント、コンセントは、使用中はもちろん、いかなる場合も濡らさない。
◇感電、漏電、発火の原因になります。

◆差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
◆コンセントや差し込みプラグの刃および刃の取り付け面は定期的に汚れやほこりをふき取る。
◇感電、ショート、発火の原因になります。

■次のような場所での使用や行為はしないでください

◆電源は交流100V（家庭用電源）以外では使用しない。
◆屋外での使用はしない。
◆直射日光の当たる場所、湯気や油煙の当たるところ、ほこりや湿気の多いところでは使用しない。
◆子供には操作・セットさせない。操作させる時は大人の監視のもとで行う。
◇やけど、感電、発火の原因になります。

◆分解、改造をしない。
◇火災、感電、異常動作の原因になります。

⚠ 注意（ちゅうい）（必ず以下の注意事項をお読みになってからご使用ください）

■差し込みプラグ・コンセント・電源コードについて

◆差し込みプラグを抜く時は電源コードを持たずに差し込みプラグ部分を持って引き抜く。

◆スイッチ付テーブルタップ（延長コード）に接続して使用し、ヒーター部を飼育ケージ外に取り出す時は、本体が接続されたコンセントのスイッチを切った事を確認した後に取り出す。
◇感電、ショート、発煙、発火のおそれがあります。

■センサー部について

◆センサー部は石をかぶせたり、砂の中に埋めない。
◇誤動作、故障、生体が死ぬ原因になります。

◆センサー及びヒーター部は必ず同じ飼育ケージ内にセットする。
◇温度を管理できず、生体が死ぬ原因になります。

◆センサー部の飼育ケージからの露出やふらつきがないように必ず、付属のキスゴムで固定する。
◇破損、誤動作の原因になります。

■本体・電源コードについて

◆製品を落としたり、強い衝撃を与えない。
◆電源コードを引っ張らない。
◇破損、発火の原因になります。
◆本体には観賞魚用のヒーターを絶対につながない。
◇温度管理が正確にできず、生体が死ぬ原因になります。
◆本体には爬虫類・両生類用ヒーター、ランプ、照明以外は使用しない。
◇破損、生体が死ぬ原因になります。
◆温度調節部は温度セット後は触らない。
◇設定温度が狂い、生体が死ぬ原因になります。
◆本体は逆さまに設置しない。
◇伝い水などで内部に水が入り、故障の原因になります。
◆本体の照明用コンセントにはヒーターを接続しない。
◆本体はセンサーをセットしている飼育ケージのみで使用し、複数の飼育ケージには使用しない。
◇生体が死ぬ原因になります。

◆本体は飼育ケージよりも高い位置に吊り下げて使用する。
◇伝い水などで内部に水が入り、故障の原因になります。
◆歯の鋭い生体を飼育する場合は、センサーコードをキズつけられないようセンサーコードにカバーをする。
◇感電、漏電、破損や生体が死ぬ原因になります。

■次のことをご確認ください

◆初期のセット時や餌を与える時など、少なくとも1日1回は温度が適切かどうかチェックしてください。

お願い

◎夏期その他で長期間使用しない場合、差し込みプラグを抜き、汚れを拭き取った後、保管してください。
◎本製品を掃除する際、シンナー、ベンジンまたはアルコール並びに有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しないでください。表面が溶けたり変形、変質する恐れがあります。汚れをとる場合は、ぬるま湯を浸した布を固く絞ってふき取ってください。

◎破棄される場合、拾われて再使用されないように捨ててください。
◎本製品に取り付けられている「警告」「注意」などのラベルは、剥がさないでください。
◎本製品を譲渡される場合は、必ず、本取扱説明書をつけてください。

Q&A

Q❶ 停電してしまいました。

A ●温度表示、タイマー表示が消えケージ内のセンサーが温度を感知しません。電源が復帰するまでお待ちください。停電状態が長い時は温度計でケージ内温度をチェックしてください。復帰後は本体が作動しているか確認してください。

Q❷ 水中に本体を落としてしまいました。

A ●まず、すべての差し込みプラグを抜いて直ちに拾い上げてください。IC回路は水に弱く、機能しなくなります。再使用はおやめください。

Q❸ 温度表示、タイマー表示が点灯しない

A ●差し込みプラグがコンセントにきちんと差し込まれているか確認してください。また、ヒーター・ランプ用コンセントにヒーターの差し込みプラグが確実に差し込まれているか確認してください。なお、確認されても点灯しない場合は、販売店、または弊社にご相談ください。

Q❹ ケージ内温度が設定温度より高い。

A ●夏期などは周囲温度が設定温度より高くなっていませんか？

Q❺ ケージ内温度が設定温度より低い。

A ●冬期などは周囲温度が低すぎませんか？
●ヒーター、ランプ本体内の電熱線が断線している可能性があります。

仕　様

項目	内容
品名	爬虫類・両生類用タイマー機能付電子サーモスタット　爬虫類サーモ
用途	爬虫類・両生類飼育ヒーター、ランプ用サーモスタット（照明タイマー機能付）
定格電圧	AC100V　50/60Hz
制御温度範囲	15～35℃（温度設定精度±1℃）〈2段階制御〉
使用できるヒーター、ランプ容量	400Wまで
温度表示	整数第1位までの2桁表示
警報表示	異常温度上昇警報：（制御温度設定+2℃）～40℃　異常温度降下警報：5℃～（制御温度設定−2℃） センサー異常警報：センサーオープン、ショート（ヒーターへの出力をOFF）
時間表示	4桁　24時間表示（時間精度±2分/月）
使用できる照明の容量	200Wまで
バックアップ機能	約1時間保持（タイマー機能、設定温度、警報温度保持）
使用可能周囲温度	0～40℃
使用可能周囲湿度	10～85%（結露なき事）
寸法	本体：幅8.0×奥行4.0×高さ19.5cm　電源コード：約1.5m　センサーコード：約1.5m ヒーター・ランプ用コンセントコード：約0.2m　照明用コンセントコード：約0.2m

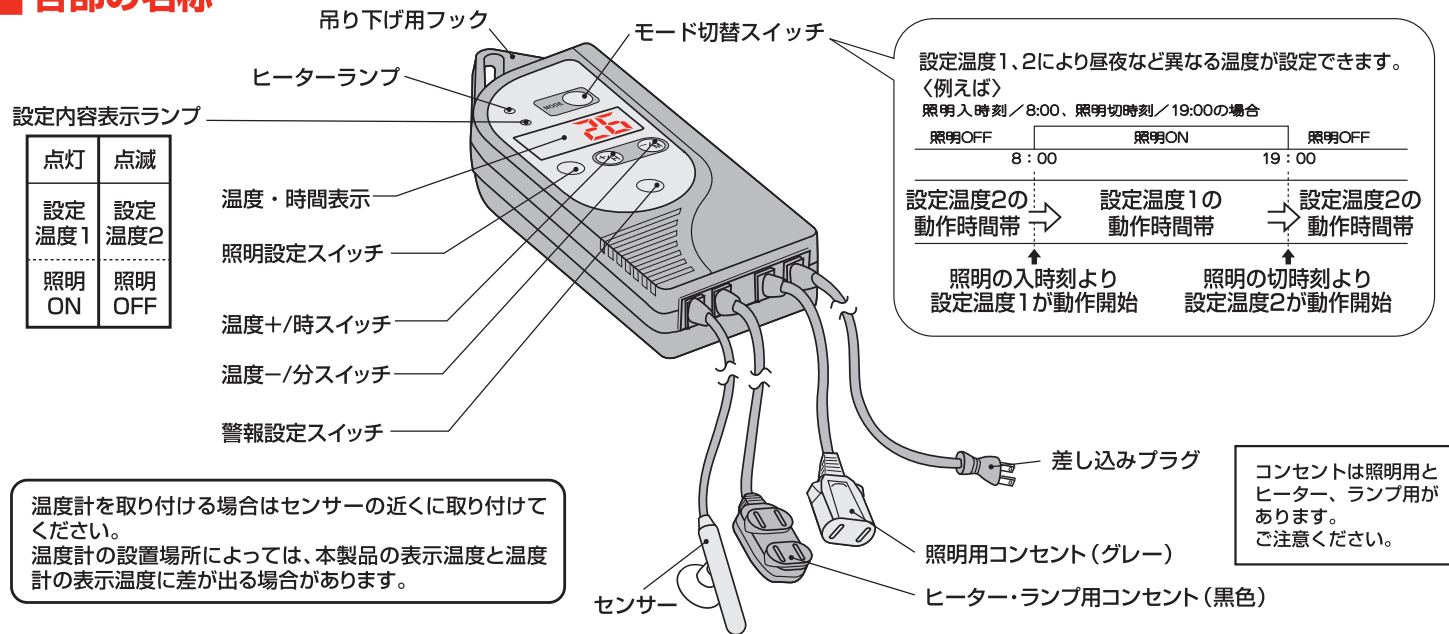
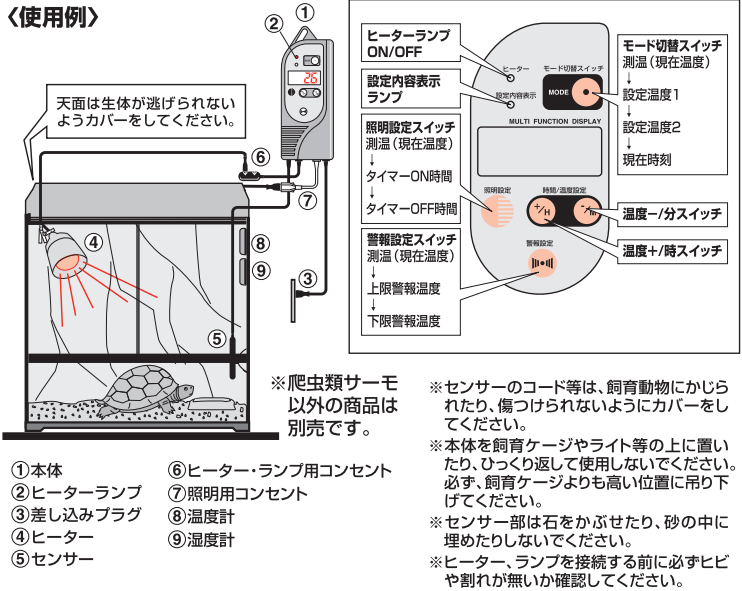
各部の名称

ご使用方法及びご注意点

〈使用例〉

※爬虫類サーモ以外の商品は別売です。

①本体
②ヒーターランプ
③差し込みプラグ
④ヒーター
⑤センサー
⑥ヒーター・ランプ用コンセント
⑦照明用コンセント
⑧温度計
⑨湿度計

※センサーのコード等は、飼育動物にかじられたり、傷つけられないようにカバーをしてください。
※本体を飼育ケージやライト等の上に置いたり、ひっくり返して使用しないでください。必ず、飼育ケージよりも高い位置に吊り下げてください。
※センサー部は石をかぶせたり、砂の中に埋めたりしないでください。
※ヒーター、ランプを接続する前に必ずヒビや割れが無いか確認してください。

①本体を飼育ケージの近くの水のかからない壁面などに設置してください。（直射日光の当たらない、風通しの良い場所を選びます。）飼育ケージは図のような専用ケージを用意してください。センサーはヒーターの照明が直接あたる場所をさけてセットしてください。

※ケージはGEXエキゾテラ「グラステラリウム」をおすすめします。

②ヒーターを容器へ入れ、使用例(左図)を参考にケージ内面に固定してください。
③ヒーター、ランプの電力合計は400Wまでご使用いただけます。
④センサー、ヒーター、ランプが入っている事を確認し、ヒーターの差し込みプラグをヒーター・ランプ用コンセント（2口黒色）に接続します。
⑤照明の差し込みプラグを照明用コンセント（グレー）に接続します。タイマー設定する器具の電力は、200Wまででご使用ください。
※ヒーター・ランプ用コンセントと、照明出力用コンセントは色でわけられています。ヒーター・ランプ用コンセントが黒色、照明出力用がグレーです。間違いのないように接続してください。
⑥本製品の差し込みプラグを家庭用コンセントに接続します。電源を接続すると本製品はブザー音と共に現在温度（点滅）を表示します。（ブザー音は1時間以上の停電などでバックアップが消えてしまい、再び電源が復帰したことを知らせるためです。）ブザー音を止めたい時はいずれかのキースイッチを押してください。
⑦温度設定、上限、下限警報設定、現在時刻設定、タイマーON/OFF設定を順次行います。設定をしない場合、右記初期設定値の内容で作動します。

※初期設定値
設定温度1＝28℃　タイマー入時間＝ 8：00
設定温度2＝26℃　タイマー切時間＝19：00
現在時刻＝12：00

ご使用方法及びご注意点

■温度設定のしかた

設定温度1の場合（設定内容表示ランプが点灯します。）

1.「モード切替スイッチ」を押します。
→早い点滅で28℃（初期設定値）を表示します。〈図.1〉
（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）

2.早い点滅で数値を表示している間に「温度+/時スイッチ」と「温度−/分スイッチ」で希望の設定温度に数値を合わせます。「温度+/時スイッチ」を押すと数値がアップし、「温度−/分スイッチ」を押すと数値がダウンします。〈図.2〉

〈図.1〉 〈図.2〉

（図のデジタル表示は説明をわかりやすくするための仮の数字です。以下図中の任意のデジタル表示は全て仮です。）

3.デジタル表示の数値を希望温度に合わせる。
→そのままにしておくと、約8秒後に現在温度表示になり、温度設定が完了します。

4.設定温度の確認をします。もう一度、「モード切替スイッチ」を押します。
→設定温度を早い点滅で表示します。

5.その後、温度が設定温度になるまで、時々確認してください。
※温度の管理には必ず温度計（別売）を併用してチェックしてください。

■ヒーターランプについて次のように表示します。

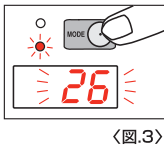
ヒーターランプ	設定温度とケージ内温度（センサー周囲温度）の比較
点　灯	ケージ内温度（センサー周囲温度）が設定温度より低い
消　灯 ○	ケージ内温度（センサー周囲温度）が設定温度より高いもしくは同じ

※本製品には電源のON/OFFスイッチはついておりません。
ご使用を中止する場合は差し込みプラグを抜いてください。

設定温度2の場合（設定内容表示ランプが点滅します。）

1.「モード切替スイッチ」を2回押します。
→早い点滅で26℃（初期設定値）を表示します。〈図.3〉
（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）

〈図.3〉

2.以下は「設定温度1の場合」に同じです。

■警報温度を設定します。

●まず、上限警報温度スイッチを設定します。

（上限設定:温度設定1、2の設定の高い方が基準になります。
例えば:温度設定1=28℃、温度設定2=26℃なら
↑こちらが基準になる（28℃+2℃〜40℃））

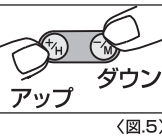
UP--　〈図.4〉

1.「警報設定スイッチ」を押します。
→早い点滅で上限警報設定可能状態を表示します。〈図.4〉
（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）

2.早い点滅でデジタル表示している間に「温度+/時スイッチ」と「温度−/分スイッチ」で希望の上限警報温度に数値を合わせます。「温度+/時スイッチ」を押すと、数値がアップし、「温度−/分スイッチ」を押すと、数値がダウンします。〈図.5〉
〈温度設定が28℃の場合を図.6で紹介〉

〈図.5〉

3.そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示し、上限警報温度のセットが完了します。

4.上限警報温度の確認をします。「警報設定スイッチ」を1回押します。→上限警報温度を点滅で表示します。

（温度設定が28℃の場合）

「温度+/時スイッチ」を押した時	UP30 →	UP31 →	UP32 →→	UP40 →	UP--
「温度−/分スイッチ」を押した時	UP40 →	UP39 →	UP38 →→	UP30 →	UP--

（スイッチを押し続けると早送りします。）
★上限警報温度をセットしない場合は、UP-- にセットします。

※設定温度を変更した場合、初期設定「UP--」に戻りますので、再度設定し直してください。〈図.6〉

●次に、下限警報温度を設定します。

（下限設定:温度設定1、2の設定の低い方が基準になります。
例えば:温度設定1=28℃、温度設定2=26℃なら
↑こちらが基準になる（5℃〜26℃−2℃））

LO--

1.「警報設定スイッチ」を続けて2回押します。
→早い点滅で下限警報設定可能状態を表示します。
（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）

2.早い点滅でデジタル表示している間に「温度+/時スイッチ」と「温度−/分スイッチ」で希望の下限警報温度に数値を合わせます。〈図.7〉〈温度設定が28℃の場合を図.8で紹介〉

〈図.7〉

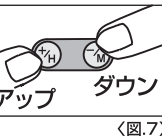
（温度設定が26℃の場合）

「温度+/時スイッチ」を押した時	LO 5 →	LO 6 →	LO 7 →→	LO24 →	LO--
「温度−/分スイッチ」を押した時	LO24 →	LO23 →	LO22 →→	LO 5 →	LO--

（スイッチを押し続けると早送りします。）
★下限警報温度をセットしない場合は、LO-- にセットします。

※設定温度を変更した場合、初期設定「LO--」に戻りますので、再度設定し直してください。〈図.8〉

3.そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示し、警報温度のセットが完了します。

4.下限警報温度の確認をします。
「警報設定スイッチ」を2回押します。
→下限警報温度を点滅で表示します。（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）
※電源接続開始時には、警報温度設定は、上限下限とも未設定状態になっています。

■現在時刻を設定します。

1.「モード切替スイッチ」を続けて3回押します。
→時間表示に変わります。〈図.9上〉
（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）

2.時間表示状態の時に、現在時刻を設定します。〈図.9下〉
（「温度+/時スイッチ」で時間、「温度−/分スイッチ」で分を設定します。）

3.そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示し、現在時刻のセットが完了します。

4.現在時刻の確認をします。
「モード切替スイッチ」を3回押します。→現在時刻を表示します。（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）

〈図.9〉

■タイマー機能を設定します。（照明、200W以下の爬虫類・両生類用器具を入/切します。）

●まず、タイマー入り時刻の設定をします。

8:00　〈図.10〉

1.「照明設定スイッチ」を押します。
→タイマー入時刻を点滅表示し、「設定内容表示ランプ」が点灯します。〈図.10〉
（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。）

2.タイマー入時刻を点滅表示し、「設定内容表示ランプ」が点灯している状態で、希望のタイマー入時刻を設定します。〈図.11〉「温度+/時スイッチ」で時間、「温度−/分スイッチ」で分を設定します。

〈図.11〉

3.そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示し、タイマー入時刻のセットが完了します。

●次に、タイマー切時刻の設定をします。

19:00　〈図.12〉

1.「照明設定スイッチ」を続けて2回押します。
→タイマー切時刻を点滅表示し、「設定内容表示ランプ」が点滅します。〈図.12〉（そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示します。上図に同じ。）

2.タイマー切時刻を点滅表示し、「設定内容表示ランプ」が点滅している状態で、希望のタイマー切時刻を設定します。「温度+/時スイッチ」で時間、「温度−/分スイッチ」で分を設定します。（図.11に同じ。）

3.そのまま放置すると約8秒で現在温度を表示し、タイマー切時刻のセットが完了します。

●タイマー入切時刻の確認をします。

1.「照明設定スイッチ」を1回押します。→タイマー入時刻を点滅表示し、「設定内容表示ランプ」が点灯します。

2.タイマー入時刻の確認ができれば、続けて、「照明設定スイッチ」を押します。
→タイマー切時刻を点滅表示し、「設定内容表示ランプ」が点滅します。

3.もう一度、「照明設定スイッチ」を1回押します。→現在温度を表示します。

※照明設定は次のように制御します。
タイマー入時刻／8:00、タイマー切時刻／19:00の場合

タイマーOFF	タイマーON	タイマーOFF
8：00		19：00

設定温度1、2動作時間帯

設定温度2	設定温度1	設定温度2

警告（エラーメッセージ）について

いずれもブザー音とデジタル表示で知らせます。

表　示	内　容	対　策
UP 26 現在温度	ケージ内温度が上限警報設定温度より上昇	ケージ内温度を下げる原因を調査し改善要
LO 26 現在温度	ケージ内温度が下限警報設定温度より下降	ケージ内温度を上げる原因を調査し改善要
S---	センサーショート	センサーを交換
O---	センサーオープン	センサーを交換

●左記警報の解除をする時はいずれかのスイッチを押してください。解除後、エラー対策を行ってください。エラーが解決されないかぎり、約15秒後に再び警報がでます。

●夏期にはヒーターが作動しなくても周囲温度が上限警報温度を超えて警報「UP」を表示する事も有り得ますが、この場合サーモ本体やヒーターの異常ではありません。

バックアップ機能付き
停電や不用意に差し込みプラグを抜き、本製品に通電しなくなってもバックアップ機能が働き約1時間はすべての設定を保持します。
（1時間以上通電しない状態が続いた場合は、再度すべての設定をしなおしてください。）
※電源通電約20分経過後、約1時間のバックアップ機能が働きます。

■製品使用前に説明書をお読みになり、充分理解した上でご使用ください。ご不明な点は、販売店または弊社へご照会ください。誤った使用法、勝手な修繕・改造などによる故障などにつきましては補償いたしかねます。
■製品の製造管理には万全を期していますが、万一、当社の製造管理上の原因による品質不良がありました場合は、同等の新しい製品とお取り換えさせていただきます。それ以外の責任はご容赦ください。
■製品改良のため、仕様・デザインなど、断わりなく変更することがありますので、ご了承ください。

〒578-0903 大阪府東大阪市今米1丁目14番15号

3G-09